

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C	令和6年5月31日
横断的な課題	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					南信州地域振興局
地域重点政策	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	商工観光課
事業名	JR東海等と連携した南信州地域のPR事業				電話	8-237-2262
					E-mail	minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	リニア中央新幹線の開通に向けて、南信州地域に点在する魅力的な観光素材を県内外へ効果的に広くPRすることで「南信州地域」の認知度の向上と誘客促進を図る。				
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度の長野県観光機構による来訪者満足度等アンケート調査によると、観光目的で南信州地域を来訪する国内旅行者のうち、東海地方からの旅行者の割合は59%と半数以上を占めており、当地域における東海・中京方面に向けた観光PRは特に重要である。 ・R3に首都圏及び中京圏居住者を対象として飯田市が行ったアンケート調査では、飯田市について「聞いたことがある程度」または「知らない」と回答した人が首都圏では5割以上、リニア中央新幹線の長野県駅が飯田市に開設されることを「知らなかった」と回答した人が首都圏・中京圏ともに5割以上との結果が示されており、リニア中央新幹線による来訪者もとより、観光客やつながり人口、移住者、企業誘致を増やすためには、南信州地域の認知度向上を図り、まず多くの人にこの地域に関心をもってもらう必要がある。 ・コロナ禍からの観光需要の本格的な回復に向けて、昨年度に引き続き、中京圏をターゲットとした「南信州地域」の認知度向上と誘客促進を図るため、JR東海と連携した事業を実施する。 				
概要	内容 (変更後の内容)	<p>【JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR東海が運行するイベント列車「急行「飯田線秘境駅号」」に併せて、地元特産品の販売や観光PR、ご当地キャラ等によるお出迎え等のおもてなしイベントを実施する。 時期：イベント列車の運行に併せて春と秋に開催(春:4/8、4/15、5/3、5/5 秋:11/4、11/19) 場所：JR平岡駅 桜並木駐車場 出店者：地元特産品販売事業者、市町村観光協会、観光事業者、市町村等 ・JR東海及び愛知県、静岡県等の沿線各機関と連携し、飯田線を活用した誘客パンフレット「JR飯田線 南信州各駅停車の旅」(最新改訂：R2.11)を、飯田駅開業100周年を迎えたR5年度版に内容を更新・増刷し、R6春の秘境駅号おもてなしイベントをはじめとする春季の誘客イベント等でPRに活用する 				
		<p>【JR尾張一宮駅での観光プロモーション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR尾張一宮駅は、1日当たり約54,000人が乗降する駅であり、JR飯田線の起点駅であるJR豊橋駅とも接続している。JR東海に協力いただき、当該駅構内に管内全14市町村の観光パンフレットを設置し、南信州地域の情報発信を実施する。 時期：R5.5～R6.3(JR東海に協力いただき、設置期間を今年度末まで延長) 場所：JR尾張一宮駅 切符売り場前及び改札内スペースの2箇所 				
		<p>【第69回名古屋まつりへのブース出展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)名古屋観光コンベンションビューローが主催する「名古屋まつり」にブース出展し、南信州地域の認知度向上及び秋・冬シーズンの誘客促進を図るため、DMOや市町村と連携して南信州地域の観光PRを行う。(R4年度集客数：約38万人) 時期：R5.10.21(土)、10.22(日) 11:00～20:00 場所：久屋大通公園会場(愛知県名古屋) 内容：観光ポスターの展示、DMO協力による地産果物や野菜の見本展示や観光農園収穫体験割引券の配布、秋・冬シーズンの南信州地域のイベント情報や観光パンフレットを配布。併せて、ブース来訪者に南信州地域の観光地に関するアンケート調査を実施し、アンケート回答者には抽選で地域特産品を配布し、特産品の認知度向上及び来訪につなげる。 				
等		<p>【南信州キャンペーンin豊橋を活用した観光PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社南信州観光公社が主催する「南信州地キャンペーンin豊橋」に併せて、南信州地域の認知度向上及び秋・冬シーズンの誘客促進を図るため、地元特産品のノベルティ配布や観光PRを行う。 時期：R5.11.5(日) 10:00～16:00 場所：JR豊橋駅 南口駅前広場(愛知県豊橋市) 内容：観光パンフレットの配布やポスター展示と併せて、地域の伝統工芸品である「飯田水引」のノベルティを作成・配布。 				
事業期間	令和5年4月		～	令和6年3月		

(単位:円)					
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進事業	地元特産品の販売や観光PR、ご当地キャラ等によるお出迎え等のおもてなしイベントの開催 JR飯田線 南信州各駅停車の旅 パンフレットの増刷	314,116	飯田線パンフレットの増刷費、アッセンブル袋(パンフレット配布用)制作費、、ガソリン代	
	JR尾張一宮駅での観光プロモーション事業	JR尾張一宮駅の構内に、管内全14市町村の観光パンフレットを設置し、情報発信	36,228	職員旅費、ガソリン代、ETC使用料	
	第69回名古屋まつりへのブース出展	名古屋まつりにブース出展し、DMOや市町村と連携して南信州地域の観光PRを実施	322,239	職員旅費、ガソリン代、アンケート等印刷代、抽選会景品代、ETC使用料、出展料	
	南信州キャンペーンin豊橋を活用した観光PR	地元特産品のノベルティ配布や観光PRを実施	35,935	職員旅費、ガソリン代、ETC使用料	
合 計			708,518		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進イベントの来場者数(手渡した観光パンフレット部数による)		1,200人	900人	一部達成
	JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進イベントの出店事業者数		13事業者	12事業者	
	第69回名古屋まつりでのブース来訪者数(アンケート回答者数による)		500人	728人	
	南信州キャンペーンin豊橋でのブース来訪者数(手渡した観光パンフレット部数による)		200人	200人	
事業実績・成果	【JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進事業】 ・秋の運行日が当初想定した4日間から2日間に減ったことで、成果指標は未達成となった。秘境駅号の乗客は上下線とも毎回約160人(1日当たり約320人)の人気ぶり、実際の総来場者数は1,200人以上であったと思われる。来場者に話を聞くと、今回が2度目、3度目の来場というリピーターも多く、今後もJR東海と連携した南信州地域のPRを継続していく必要がある。				
	【JR尾張一宮駅での観光プロモーション事業】 ・管内全14市町村及びDMOから観光パンフレットの提供を受け、駅構内2か所でPR展示を行った。R5.5月からR6.2月末までの10か月間で、合計15,700部もの観光パンフレットを中京圏を主とする駅利用者に向けてPRすることができた。				
	【第69回名古屋まつりへのブース出展】 ・当地域としては初の出展だったが、地域DMOである(株)阿智屋神観光局及び(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターと連携したPRを行い、ブース来訪者数(アンケート回答者数)は728人と目標値を達成することができた。また、県観光部と連携して特設ステージでアルクマダンスの披露やパフォーマンスを行い、より多くの来場者へ信州及び南信州をPRすることができた。				
	【南信州キャンペーンin豊橋を活用した観光PR】 ・地域連携DMOである南信州観光公社(株)と連携して、観光パンフレットの配布やポスター展示、また、地域の伝統工芸品である「飯田水引」のノベルティを配布を行い、南信州地域のPRを実施した。				
今後の方向性	コロナ禍で規模を縮小していた誘客イベントの再開に加え、名古屋まつりへのブース出展等、中京圏向けの新たなPR事業を展開することができた。 令和6年4月には、名古屋・栄に新たなランドマーク「新中日ビル」がグランドオープンする予定であり、引き続き、南信州の地域資源を活かした消費に繋がる観光コンテンツづくりと併せて、当地域の主要ターゲットである東海・中京圏へ向けた誘客促進を継続して行っていく必要がある。				